

牧野(淀川上流)探鳥会 2017年7月度

2017.7.2(第1日曜日) 9:00~12:00 日本野鳥の会大阪支部

担当 平 軍二(☎090-6901-1425) (Eメール g-hira@nifty.com)

南 茂夫、前田 初雄、甲田 照二、斎藤 健、西脇 淳浩

1. 今日(7月2日)は清掃探鳥会 (ゴミ拾いながら、探鳥コースを歩きます)

7月、牧野周辺で生まれた鳥の幼鳥が独り立ちする頃、親たちは一年間使って傷んだ羽を脱ぎかえる換羽に入っています。換羽中は外敵に襲われたとき、とっさに逃げることができないので、外敵に見つからないよう静かにしていることが多く、鳥の観察がしにくい季節です。

日本野鳥の会大阪支部では鳥が観察しにくい7月定例会を、探鳥地のゴミ拾い=清掃探鳥会として開催しています。ご協力いただきたく、よろしくお願いします。(清掃探鳥会は会員・非会員とも無料)

2. 先月(17年6月)の探鳥会から

この時期としてはさわやかな風が吹き、絶好の探鳥日和でした。コースではシジュウカラ・ウグイス・オオヨシキリ・ホオジロなど、さえずりが切れ目なしに続き、少数ながら、キジ・セッカ・ヒバリも出てくれた。そして今日のメインゲストはホトギス、「特許許可局」の歌声を堪能した。



スズメ幼鳥(牧野駅西側広場)170604

3. 牧野探鳥会の野鳥(スズメ)

今月は牧野探鳥会で毎回観察している鳥、スズメにしました。スズメは人の顔色がを見ながら、付かず離れずの距離を保って生活しているが、写真は牧野探鳥会集合時に近づいてきたスズメの幼鳥である。おそらく椅子に座って休んでいる方が、スズメの餌になるパンなどを与えているため、人は怖いということを知らず、人が来ると餌を貰えると近寄ってくるものと思われる。日本全国で減っているといわれているスズメ、このように身近に観察できるので、減ったことを意識することなく過ごしているが、実際はどうなのだろうか。



3. 牧野探鳥会二重苦(自転車対策+トイレ問題)

牧野探鳥会で最も気をつけていただきたいのは「**自転車と衝突しない**」、交通事故に対する自己防衛です。自転車のスピードが早いので、万一衝突事故があると怪我をするのはバードウォッチャーと思います。鳥を見るために道路を横切るときは、**小学1年生の気持ちになり「前後左右」**の安全を確かめてから横断してください。探鳥会開催時間内であれば、傷害保険に入っていますが、痛みまでは補償しません。

また、コース内のグラウンドに**簡易トイレが2ヶ所ある**ものの、正式なトイレは、終了時の鳥合わせ場所にあるのみです。この点もご留意ください。

←**猛スピードの自転車部隊が今日も次々通過** 170604

4. 日本野鳥の会会員になって鳥類目録をゲットしませんか

日本野鳥の会大阪支部では「大阪府鳥類目録 2016」A4版 280Pの労作(定価 3000円)を発行しました、大阪の野鳥の生息状況が良くわかる資料で、**おおぞら会員・赤い鳥会員**には無償で配布しています。また**未入会の方は、赤い鳥会員として日本野鳥の会に入会して下さるようお待ちしております。**

5. 次回8月度の定例探鳥会 8/6はお休み、前日8月5日(第1土曜日)の夕方「ツバメのねぐら観察会」

日中は厳しい暑さの8月定例会は夏休みとし、前日夕方、淀川対岸・鶴殿のヨシ原にねぐら入りするツバメを観察します。また、探鳥コースにあるカラスウリが、ねぐら入り前はつぼみだったのに、ねぐら入り観察(1時間)後にはレース状の白い花を咲かせているのを観察します。 **カラスウリ1時間の変化(160806)→**



牧野(淀川上流)探鳥会 2017年7月度

2017.7.2(第1日曜日) 9:00~12:00 日本野鳥の会大阪支部

担当 平 軍二(☎090-6901-1425) (Eメール g-hira@nifty.com)

南 茂夫、前田 初雄、甲田 照二、斎藤 健、西脇 淳浩

1. 今日は清掃探鳥会 (ゴミ拾いながら、探鳥コースを歩きます)

7月、牧野周辺で生まれた鳥の幼鳥が独り立ちする頃、親たちは一年間使って傷んだ羽を脱ぎかえる換羽に入っています。換羽中は外敵に襲われたとき、とっさに逃げることができないので、外敵に見つからないよう静かにしていることが多く、鳥の観察がしにくい季節です。

日本野鳥の会大阪支部では鳥が観察しにくい7月定例会を、探鳥地のゴミ拾い=清掃探鳥会として開催しています。ご協力いただきたく、よろしくお祈いします。(清掃探鳥会は会員・非会員とも無料)

2. 先月(17年6月)の探鳥会から

この時期としてはさわやかな風が吹き、絶好の探鳥日和でした。コースではシジュウカラ・ウグイス・オオヨシキリ・ホオジロなど、さえずりが切れ目なしに続き、少数ながら、キジ・セッカ・ヒバリも出てくれた。そして今日のメインゲストはホトギス、「特許許可局」の歌声を堪能した。



スズメ幼鳥(牧野駅西側広場)170604

3. 牧野探鳥会の野鳥(スズメ)

今月は牧野探鳥会で毎回観察している鳥、スズメにしました。スズメは人の顔色がを見ながら、付かず離れずの距離を保って生活しているが、写真は牧野探鳥会集合時に近づいてきたスズメの幼鳥である。おそらく椅子に座って休んでいる方が、スズメの餌になるパンなどを与えているため、人は怖いということを知らず、人が来ると餌を貰えると近寄ってくるものと思われる。日本全国で減っているといわれているスズメ、このように身近に観察できるので、減ったことを意識することなく過ごしているが、実際はどうなのだろうか。

3. 牧野探鳥会二重苦(自転車対策+トイレ問題)

牧野探鳥会で最も気をつけていただきたいのは「**自転車と衝突しない**」、交通事故に対する自己防衛です。自転車のスピードが早いので、万一衝突事故があると怪我をするのはバードウォッチャーと思います。鳥を見るために道路を横切るときは、**小学1年生の気持ちになり「前後左右」**の安全を確かめてから横断してください。探鳥会開催時間内であれば、傷害保険に入っていますが、痛みまでは補償しません。

また、コース内のグラウンドに**簡易トイレが2ヶ所ある**ものの、正式なトイレは、終了時の鳥合わせ場所にあるのみです。この点もご留意ください。

←**猛スピードの自転車部隊が今日も次々通過** 170604



06/04/2017 10:45

4. 日本野鳥の会会員になって鳥類目録をゲットしませんか

日本野鳥の会大阪支部では「大阪府鳥類目録2016」A4版280Pの労作(定価3000円)を発行しました、大阪の野鳥の生息状況が良くわかる資料で、**おおぞら会員・赤い鳥会員**には無償で配布しています。また**未入会の方は、赤い鳥会員として日本野鳥の会に入会して下さるようお待ちしております。**

5. 次回8月度の定例探鳥会8/6はお休み、前日8月5日(第1土曜日)の夕方「ツバメのねぐら観察会」

日中は厳しい暑さの8月定例会は夏休みとし、前日夕方、淀川対岸・鶴殿のヨシ原にねぐら入りするツバメを観察します。また、探鳥コースにあるカラスウリが、ねぐら入り前はつぼみだったのに、ねぐら入り観察(1時間)後にはレース状の白い花を咲かせているのを観察します。 **カラスウリ1時間の変化(160806)**→



つぼみ 18:34

カラスウリ開花 19:42

牧野(淀川上流)探鳥会 2017年7月度

2017.7.2(第1日曜日) 9:00~12:00 日本野鳥の会大阪支部

担当 平 軍二(☎090-6901-1425) (Eメール g-hira@nifty.com)

南 茂夫、前田 初雄、甲田 照二、斎藤 健、西脇 淳浩

1. 今日(7月2日)は清掃探鳥会 (ゴミ拾いながら、探鳥コースを歩きます)

7月、牧野周辺で生まれた鳥の幼鳥が独り立ちする頃、親たちは一年間使って傷んだ羽を脱ぎかえる換羽に入っています。換羽中は外敵に襲われたとき、とっさに逃げることができないので、外敵に見つからないよう静かにしていることが多く、鳥の観察がしにくい季節です。

日本野鳥の会大阪支部では鳥が観察しにくい7月定例会を、探鳥地のゴミ拾い=清掃探鳥会として開催しています。ご協力いただきたく、よろしくお祈りします。(清掃探鳥会は会員・非会員とも無料)

2. 先月(17年6月)の探鳥会から

この時期としてはさわやかな風が吹き、絶好の探鳥日和でした。コースではシジュウカラ・ウグイス・オオヨシキリ・ホオジロなど、さえずりが切れ目なしに続き、少数ながら、キジ・セッカ・ヒバリも出てくれた。そして今日のメインゲストはホトギス、「特許許可局」の歌声を堪能した。



スズメ幼鳥(牧野駅西側広場)170604

3. 牧野探鳥会の野鳥(スズメ)

今月は牧野探鳥会で毎回観察している鳥、スズメにしました。スズメは人の顔色がを見ながら、付かず離れずの距離を保って生活しているが、写真は牧野探鳥会集合時に近づいてきたスズメの幼鳥である。おそらく椅子に座って休んでいる方が、スズメの餌になるパンなどを与えているため、人は怖いということを知らず、人が来ると餌を貰えると近寄ってくるものと思われる。日本全国で減っているといわれているスズメ、このように身近に観察できるので、減ったことを意識することなく過ごしているが、実際はどうなのだろうか。

3. 牧野探鳥会二重苦(自転車対策+トイレ問題)

牧野探鳥会で最も気をつけていただきたいのは「**自転車と衝突しない**」、交通事故に対する自己防衛です。自転車のスピードが早いので、万一衝突事故があると怪我をするのはバードウォッチャーと思います。鳥を見るために道路を横切るときは、**小学1年生の気持ちになり「前後左右」**の安全を確かめてから横断してください。探鳥会開催時間内であれば、傷害保険に入っていますが、痛みまでは補償しません。

また、コース内のグラウンドに**簡易トイレが2ヶ所ある**ものの、正式なトイレは、終了時の鳥合わせ場所にあるのみです。この点もご留意ください。

←**猛スピードの自転車部隊が今日も次々通過** 170604



06/04/2017 10:45

4. 日本野鳥の会会員になって鳥類目録をゲットしませんか

日本野鳥の会大阪支部では「大阪府鳥類目録 2016」A4版 280Pの労作(定価 3000円)を発行しました、大阪の野鳥の生息状況が良くわかる資料で、**おおぞら会員・赤い鳥会員**には無償で配布しています。また**未入会の方は、赤い鳥会員として日本野鳥の会に入会して下さるようお待ちしております。**

5. 次回8月度の定例探鳥会 8/6はお休み、前日8月5日(第1土曜日)の夕方「ツバメのねぐら観察会」

日中は厳しい暑さの8月定例会は夏休みとし、前日夕方、淀川対岸・鶴殿のヨシ原にねぐら入りするツバメを観察します。また、探鳥コースにあるカラスウリが、ねぐら入り前はつぼみだったのに、ねぐら入り観察(1時間)後にはレース状の白い花を咲かせているのを観察します。 **カラスウリ1時間の変化(160806)→**



つぼみ 18:34

カラスウリ開花 19:42

牧野(淀川上流)探鳥会 2017年7月度

2017.7.2(第1日曜日) 9:00~12:00 日本野鳥の会大阪支部

担当 平 軍二(☎090-6901-1425) (Eメール g-hira@nifty.com)

南 茂夫、前田 初雄、甲田 照二、斎藤 健、西脇 淳浩

1. 今日(7月2日)は清掃探鳥会 (ゴミ拾いながら、探鳥コースを歩きます)

7月、牧野周辺で生まれた鳥の幼鳥が独り立ちする頃、親たちは一年間使って傷んだ羽を脱ぎかえる換羽に入っています。換羽中は外敵に襲われたとき、とっさに逃げることができないので、外敵に見つからないよう静かにしていることが多く、鳥の観察がしにくい季節です。

日本野鳥の会大阪支部では鳥が観察しにくい7月定例会を、探鳥地のゴミ拾い=清掃探鳥会として開催しています。ご協力いただきたく、よろしくお祈りします。(清掃探鳥会は会員・非会員とも無料)

2. 先月(17年6月)の探鳥会から

この時期としてはさわやかな風が吹き、絶好の探鳥日和でした。コースではシジュウカラ・ウグイス・オオヨシキリ・ホオジロなど、さえずりが切れ目なしに続き、少数ながら、キジ・セッカ・ヒバリも出てくれた。そして今日のメインゲストはホトギス、「特許許可局」の歌声を堪能した。



スズメ幼鳥(牧野駅西側広場)170604

3. 牧野探鳥会の野鳥(スズメ)

今月は牧野探鳥会で毎回観察している鳥、スズメにしました。スズメは人の顔色が見ながら、付かず離れずの距離を保って生活しているが、写真は牧野探鳥会集合時に近づいてきたスズメの幼鳥である。おそらく椅子に座って休んでいる方が、スズメの餌になるパンなどを与えているため、人は怖いということを知らず、人が来ると餌を貰えると近寄ってくるものと思われる。日本全国で減っているといわれているスズメ、このように身近に観察できるので、減ったことを意識することなく過ごしているが、実際はどうなのだろうか。

3. 牧野探鳥会二重苦(自転車対策+トイレ問題)

牧野探鳥会で最も気をつけていただきたいのは「**自転車と衝突しない**」、交通事故に対する自己防衛です。自転車のスピードが早いので、万一衝突事故があると怪我をするのはバードウォッチャーと思います。鳥を見るために道路を横切るときは、**小学1年生の気持ちになり「前後左右」**の安全を確かめてから横断してください。探鳥会開催時間内であれば、傷害保険に入っていますが、痛みまでは補償しません。

また、コース内のグラウンドに**簡易トイレが2ヶ所ある**ものの、正式なトイレは、終了時の鳥合わせ場所にあるのみです。この点もご留意ください。

←**猛スピードの自転車部隊が今日も次々通過** 170604



06/04/2017 10:45

4. 日本野鳥の会会員になって鳥類目録をゲットしませんか

日本野鳥の会大阪支部では「大阪府鳥類目録 2016」A4版 280Pの労作(定価 3000円)を発行しました、大阪の野鳥の生息状況が良くわかる資料で、**おおぞら会員・赤い鳥会員**には無償で配布しています。また**未入会の方は、赤い鳥会員として日本野鳥の会に入会して下さるようお待ちしております。**

5. 次回8月度の定例探鳥会 8/6はお休み、前日8月5日(第1土曜日)の夕方「ツバメのねぐら観察会」

日中は厳しい暑さの8月定例会は夏休みとし、前日夕方、淀川対岸・鶴殿のヨシ原にねぐら入りするツバメを観察します。また、探鳥コースにあるカラスウリが、ねぐら入り前はつぼみだったのに、ねぐら入り観察(1時間)後にはレース状の白い花を咲かせているのを観察します。 **カラスウリ1時間の変化(160806)→**



つぼみ 18:34

カラスウリ開花 19:42

牧野(淀川上流)探鳥会 2017年7月度

2017.7.2(第1日曜日) 9:00~12:00 日本野鳥の会大阪支部

担当 平 軍二(☎090-6901-1425) (Eメール g-hira@nifty.com)

南 茂夫、前田 初雄、甲田 照二、斎藤 健、西脇 淳浩

1. 今日は清掃探鳥会 (ゴミ拾いながら、探鳥コースを歩きます)

7月、牧野周辺で生まれた鳥の幼鳥が独り立ちする頃、親たちは一年間使って傷んだ羽を脱ぎかえる換羽に入っています。換羽中は外敵に襲われたとき、とっさに逃げることができないので、外敵に見つからないよう静かにしていることが多く、鳥の観察がしにくい季節です。

日本野鳥の会大阪支部では鳥が観察しにくい7月定例会を、探鳥地のゴミ拾い=清掃探鳥会として開催しています。ご協力いただきたく、よろしくお祈りします。(清掃探鳥会は会員・非会員とも無料)

2. 先月(17年6月)の探鳥会から

この時期としてはさわやかな風が吹き、絶好の探鳥日和でした。コースではシジュウカラ・ウグイス・オオヨシキリ・ホオジロなど、さえずりが切れ目なしに続き、少数ながら、キジ・セッカ・ヒバリも出てくれた。そして今日のメインゲストはホトギス、「特許許可局」の歌声を堪能した。



スズメ幼鳥(牧野駅西側広場)170604

3. 牧野探鳥会の野鳥(スズメ)

今月は牧野探鳥会で毎回観察している鳥、スズメにしました。スズメは人の顔色がを見ながら、付かず離れずの距離を保って生活しているが、写真は牧野探鳥会集合時に近づいてきたスズメの幼鳥である。おそらく椅子に座って休んでいる方が、スズメの餌になるパンなどを与えているため、人は怖いということを知らず、人が来ると餌を貰えると近寄ってくるものと思われる。日本全国で減っているといわれているスズメ、このように身近に観察できるので、減ったことを意識することなく過ごしているが、実際はどうなのだろうか。

3. 牧野探鳥会二重苦(自転車対策+トイレ問題)

牧野探鳥会で最も気をつけていただきたいのは「**自転車と衝突しない**」、交通事故に対する自己防衛です。自転車のスピードが早いので、万一衝突事故があると怪我をするのはバードウォッチャーと思います。鳥を見るために道路を横切るときは、**小学1年生の気持ちになり「前後左右」**の安全を確かめてから横断してください。探鳥会開催時間内であれば、傷害保険に入っていますが、痛みまでは補償しません。

また、コース内のグラウンドに**簡易トイレが2ヶ所ある**ものの、正式なトイレは、終了時の鳥合わせ場所にあるのみです。この点もご留意ください。

←**猛スピードの自転車部隊が今日も次々通過** 170604



06/04/2017 10:45

4. 日本野鳥の会会員になって鳥類目録をゲットしませんか

日本野鳥の会大阪支部では「大阪府鳥類目録2016」A4版280Pの労作(定価3000円)を発行しました、大阪の野鳥の生息状況が良くわかる資料で、**おおぞら会員・赤い鳥会員**には無償で配布しています。また**未入会の方は、赤い鳥会員として日本野鳥の会に入会して下さるようお待ちしております。**

5. 次回8月度の定例探鳥会8/6はお休み、前日8月5日(第1土曜日)の夕方「ツバメのねぐら観察会」

日中は厳しい暑さの8月定例会は夏休みとし、前日夕方、淀川対岸・鶴殿のヨシ原にねぐら入りするツバメを観察します。また、探鳥コースにあるカラスウリが、ねぐら入り前はつぼみだったのに、ねぐら入り観察(1時間)後にはレース状の白い花を咲かせているのを観察します。 **カラスウリ1時間の変化(160806)**→



つぼみ 18:34

カラスウリ開花 19:42

牧野(淀川上流)探鳥会 2017年7月度

2017.7.2(第1日曜日) 9:00~12:00 日本野鳥の会大阪支部

担当 平 軍二(☎090-6901-1425) (Eメール g-hira@nifty.com)

南 茂夫、前田 初雄、甲田 照二、斎藤 健、西脇 淳浩

1. 今日(17日)は清掃探鳥会 (ゴミ拾いながら、探鳥コースを歩きます)

7月、牧野周辺で生まれた鳥の幼鳥が独り立ちする頃、親たちは一年間使って傷んだ羽を脱ぎかえる換羽に入っています。換羽中は外敵に襲われたとき、とっさに逃げることができないので、外敵に見つからないよう静かにしていることが多く、鳥の観察がしにくい季節です。

日本野鳥の会大阪支部では鳥が観察しにくい7月定例会を、探鳥地のゴミ拾い=清掃探鳥会として開催しています。ご協力いただきたく、よろしくお祈りします。(清掃探鳥会は会員・非会員とも無料)

2. 先月(17年6月)の探鳥会から

この時期としてはさわやかな風が吹き、絶好の探鳥日和でした。コースではシジュウカラ・ウグイス・オオヨシキリ・ホオジロなど、さえずりが切れ目なしに続き、少数ながら、キジ・セッカ・ヒバリも出てくれた。そして今日のメインゲストはホトギス、「特許許可局」の歌声を堪能した。



スズメ幼鳥(牧野駅西側広場)170604

3. 牧野探鳥会の野鳥(スズメ)

今月は牧野探鳥会で毎回観察している鳥、スズメにしました。スズメは人の顔色がを見ながら、付かず離れずの距離を保って生活しているが、写真は牧野探鳥会集合時に近づいてきたスズメの幼鳥である。おそらく椅子に座って休んでいる方が、スズメの餌になるパンなどを与えているため、人は怖いということを知らず、人が来ると餌を貰えると近寄ってくるものと思われる。日本全国で減っているといわれているスズメ、このように身近に観察できるので、減ったことを意識することなく過ごしているが、実際はどうなのだろうか。



3. 牧野探鳥会二重苦(自転車対策+トイレ問題)

牧野探鳥会で最も気をつけていただきたいのは「**自転車と衝突しない**」、交通事故に対する自己防衛です。自転車のスピードが早いので、万一衝突事故があると怪我をするのはバードウォッチャーと思います。鳥を見るために道路を横切るときは、**小学1年生の気持ちになり「前後左右」**の安全を確かめてから横断してください。探鳥会開催時間内であれば、傷害保険に入っていますが、痛みまでは補償しません。

また、コース内のグラウンドに**簡易トイレが2ヶ所ある**ものの、正式なトイレは、終了時の鳥合わせ場所にあるのみです。この点もご留意ください。

←**猛スピードの自転車部隊が今日も次々通過** 170604

4. 日本野鳥の会会員になって鳥類目録をゲットしませんか

日本野鳥の会大阪支部では「大阪府鳥類目録2016」A4版280Pの労作(定価3000円)を発行しました、大阪の野鳥の生息状況が良くわかる資料で、**おおぞら会員・赤い鳥会員**には無償で配布しています。また**未入会の方は、赤い鳥会員として日本野鳥の会に入会して下さるようお待ちしております。**

5. 次回8月度の定例探鳥会8/6はお休み、前日8月5日(第1土曜日)の夕方「ツバメのねぐら観察会」

日中は厳しい暑さの8月定例会は夏休みとし、前日夕方、淀川対岸・鶴殿のヨシ原にねぐら入りするツバメを観察します。また、探鳥コースにあるカラスウリが、ねぐら入り前はつぼみだったのに、ねぐら入り観察(1時間)後にはレース状の白い花を咲かせているのを観察します。 **カラスウリ1時間の変化(160806)**→



牧野(淀川上流)探鳥会 2017年7月度

2017.7.2(第1日曜日) 9:00~12:00 日本野鳥の会大阪支部

担当 平 軍二(☎090-6901-1425) (Eメール g-hira@nifty.com)

南 茂夫、前田 初雄、甲田 照二、斎藤 健、西脇 淳浩

1. 今日は清掃探鳥会 (ゴミ拾いながら、探鳥コースを歩きます)

7月、牧野周辺で生まれた鳥の幼鳥が独り立ちする頃、親たちは一年間使って傷んだ羽を脱ぎかえる換羽に入っています。換羽中は外敵に襲われたとき、とっさに逃げることができないので、外敵に見つからないよう静かにしていることが多く、鳥の観察がしにくい季節です。

日本野鳥の会大阪支部では鳥が観察しにくい7月定例会を、探鳥地のゴミ拾い=清掃探鳥会として開催しています。ご協力いただきたく、よろしくお祈いします。(清掃探鳥会は会員・非会員とも無料)

2. 先月(17年6月)の探鳥会から

この時期としてはさわやかな風が吹き、絶好の探鳥日和でした。コースではシジュウカラ・ウグイス・オオヨシキリ・ホオジロなど、さえずりが切れ目なしに続き、少数ながら、キジ・セッカ・ヒバリも出てくれた。そして今日のメインゲストはホトギス、「特許許可局」の歌声を堪能した。



スズメ幼鳥(牧野駅西側広場)170604

3. 牧野探鳥会の野鳥(スズメ)

今月は牧野探鳥会で毎回観察している鳥、スズメにしました。スズメは人の顔色がを見ながら、付かず離れずの距離を保って生活しているが、写真は牧野探鳥会集合時に近づいてきたスズメの幼鳥である。おそらく椅子に座って休んでいる方が、スズメの餌になるパンなどを与えているため、人は怖いということを知らず、人が来ると餌を貰えると近寄ってくるものと思われる。日本全国で減っているといわれているスズメ、このように身近に観察できるので、減ったことを意識することなく過ごしているが、実際はどうなのだろうか。

3. 牧野探鳥会二重苦(自転車対策+トイレ問題)

牧野探鳥会で最も気をつけていただきたいのは「**自転車と衝突しない**」、交通事故に対する自己防衛です。自転車のスピードが早いので、万一衝突事故があると怪我をするのはバードウォッチャーと思います。鳥を見るために道路を横切るときは、**小学1年生の気持ちになり「前後左右」**の安全を確かめてから横断してください。探鳥会開催時間内であれば、傷害保険に入っていますが、痛みまでは補償しません。

また、コース内のグラウンドに**簡易トイレが2ヶ所ある**ものの、正式なトイレは、終了時の鳥合わせ場所にあるのみです。この点もご留意ください。

←**猛スピードの自転車部隊が今日も次々通過** 170604



06/04/2017 10:45

4. 日本野鳥の会会員になって鳥類目録をゲットしませんか

日本野鳥の会大阪支部では「大阪府鳥類目録2016」A4版280Pの労作(定価3000円)を発行しました、大阪の野鳥の生息状況が良くわかる資料で、**おおぞら会員・赤い鳥会員**には無償で配布しています。また**未入会の方は、赤い鳥会員として日本野鳥の会に入会して下さるようお待ちしております。**

5. 次回8月度の定例探鳥会8/6はお休み、前日8月5日(第1土曜日)の夕方「ツバメのねぐら観察会」

日中は厳しい暑さの8月定例会は夏休みとし、前日夕方、淀川対岸・鶴殿のヨシ原にねぐら入りするツバメを観察します。また、探鳥コースにあるカラスウリが、ねぐら入り前はつぼみだったのに、ねぐら入り観察(1時間)後にはレース状の白い花を咲かせているのを観察します。 **カラスウリ1時間の変化(160806)** →



つぼみ 18:34

カラスウリ開花 19:42

牧野(淀川上流)探鳥会 2017年7月度

2017.7.2(第1日曜日) 9:00~12:00 日本野鳥の会大阪支部

担当 平 軍二(☎090-6901-1425) (Eメール g-hira@nifty.com)

南 茂夫、前田 初雄、甲田 照二、斎藤 健、西脇 淳浩

1. 今日(7月2日)は清掃探鳥会 (ゴミ拾いながら、探鳥コースを歩きます)

7月、牧野周辺で生まれた鳥の幼鳥が独り立ちする頃、親たちは一年間使って傷んだ羽を脱ぎかえる換羽に入っています。換羽中は外敵に襲われたとき、とっさに逃げることができないので、外敵に見つからないよう静かにしていることが多く、鳥の観察がしにくい季節です。

日本野鳥の会大阪支部では鳥が観察しにくい7月定例会を、探鳥地のゴミ拾い=清掃探鳥会として開催しています。ご協力いただきたく、よろしくお願いいたします。(清掃探鳥会は会員・非会員とも無料)

2. 先月(17年6月)の探鳥会から

この時期としてはさわやかな風が吹き、絶好の探鳥日和でした。コースではシジュウカラ・ウグイス・オオヨシキリ・ホオジロなど、さえずりが切れ目なしに続き、少数ながら、キジ・セッカ・ヒバリも出てくれた。そして今日のメインゲストはホトギス、「特許許可局」の歌声を堪能した。



スズメ幼鳥(牧野駅西側広場)170604

3. 牧野探鳥会の野鳥(スズメ)

今月は牧野探鳥会で毎回観察している鳥、スズメにしました。スズメは人の顔色がを見ながら、付かず離れずの距離を保って生活しているが、写真は牧野探鳥会集合時に近づいてきたスズメの幼鳥である。おそらく椅子に座って休んでいる方が、スズメの餌になるパンなどを与えているため、人は怖いということを知らず、人が来ると餌を貰えると近寄ってくるものと思われる。日本全国で減っているといわれているスズメ、このように身近に観察できるので、減ったことを意識することなく過ごしているが、実際はどうなのだろうか。

3. 牧野探鳥会二重苦(自転車対策+トイレ問題)

牧野探鳥会で最も気をつけていただきたいのは「**自転車と衝突しない**」、交通事故に対する自己防衛です。自転車のスピードが早いので、万一衝突事故があると怪我をするのはバードウォッチャーと思います。鳥を見るために道路を横切るときは、**小学1年生の気持ちになり「前後左右」**の安全を確かめてから横断してください。探鳥会開催時間内であれば、傷害保険に入っていますが、痛みまでは補償しません。

また、コース内のグラウンドに**簡易トイレが2ヶ所ある**ものの、正式なトイレは、終了時の鳥合わせ場所にあるのみです。この点もご注意ください。

←**猛スピードの自転車部隊が今日も次々通過** 170604



06/04/2017 10:45

4. 日本野鳥の会会員になって鳥類目録をゲットしませんか

日本野鳥の会大阪支部では「大阪府鳥類目録2016」A4版280Pの労作(定価3000円)を発行しました、大阪の野鳥の生息状況が良くわかる資料で、**おおぞら会員・赤い鳥会員**には無償で配布しています。また**未入会の方は、赤い鳥会員として日本野鳥の会に入会して下さるようお待ちしております。**

5. 次回8月度の定例探鳥会8/6はお休み、前日8月5日(第1土曜日)の夕方「ツバメのねぐら観察会」

日中は厳しい暑さの8月定例会は夏休みとし、前日夕方、淀川対岸・鶴殿のヨシ原にねぐら入りするツバメを観察します。また、探鳥コースにあるカラスウリが、ねぐら入り前はつぼみだったのに、ねぐら入り観察(1時間)後にはレース状の白い花を咲かせているのを観察します。 **カラスウリ1時間の変化(160806)→**



つぼみ 18:34

カラスウリ開花 19:42

牧野(淀川上流)探鳥会 2017年7月度

2017.7.2(第1日曜日) 9:00~12:00 日本野鳥の会大阪支部

担当 平 軍二(☎090-6901-1425) (Eメール g-hira@nifty.com)

南 茂夫、前田 初雄、甲田 照二、斎藤 健、西脇 淳浩

1. 今日は清掃探鳥会 (ゴミ拾いながら、探鳥コースを歩きます)

7月、牧野周辺で生まれた鳥の幼鳥が独り立ちする頃、親たちは一年間使って傷んだ羽を脱ぎかえる換羽に入っています。換羽中は外敵に襲われたとき、とっさに逃げることができないので、外敵に見つからないよう静かにしていることが多く、鳥の観察がしにくい季節です。

日本野鳥の会大阪支部では鳥が観察しにくい7月定例会を、探鳥地のゴミ拾い=清掃探鳥会として開催しています。ご協力いただきたく、よろしくお祈いします。(清掃探鳥会は会員・非会員とも無料)

2. 先月(17年6月)の探鳥会から

この時期としてはさわやかな風が吹き、絶好の探鳥日和でした。コースではシジュウカラ・ウグイス・オオヨシキリ・ホオジロなど、さえずりが切れ目なしに続き、少数ながら、キジ・セッカ・ヒバリも出てくれた。そして今日のメインゲストはホトギス、「特許許可局」の歌声を堪能した。



スズメ幼鳥(牧野駅西側広場)170604

3. 牧野探鳥会の野鳥(スズメ)

今月は牧野探鳥会で毎回観察している鳥、スズメにしました。スズメは人の顔色がを見ながら、付かず離れずの距離を保って生活しているが、写真は牧野探鳥会集合時に近づいてきたスズメの幼鳥である。おそらく椅子に座って休んでいる方が、スズメの餌になるパンなどを与えているため、人は怖いということを知らず、人が来ると餌を貰えると近寄ってくるものと思われる。日本全国で減っているといわれているスズメ、このように身近に観察できるので、減ったことを意識することなく過ごしているが、実際はどうなのだろうか。

3. 牧野探鳥会二重苦(自転車対策+トイレ問題)

牧野探鳥会で最も気をつけていただきたいのは「**自転車と衝突しない**」、交通事故に対する自己防衛です。自転車のスピードが早いので、万一衝突事故があると怪我をするのはバードウォッチャーと思います。鳥を見るために道路を横切るときは、**小学1年生の気持ちになり「前後左右」**の安全を確かめてから横断してください。探鳥会開催時間内であれば、傷害保険に入っていますが、痛みまでは補償しません。

また、コース内のグラウンドに**簡易トイレが2ヶ所ある**ものの、正式なトイレは、終了時の鳥合わせ場所にあるのみです。この点もご留意ください。

←**猛スピードの自転車部隊が今日も次々通過** 170604



06/04/2017 10:45

4. 日本野鳥の会会員になって鳥類目録をゲットしませんか

日本野鳥の会大阪支部では「大阪府鳥類目録2016」A4版280Pの労作(定価3000円)を発行しました、大阪の野鳥の生息状況が良くわかる資料で、**おおぞら会員・赤い鳥会員**には無償で配布しています。また**未入会の方は、赤い鳥会員として日本野鳥の会に入会して下さるようお待ちしております。**

5. 次回8月度の定例探鳥会8/6はお休み、前日8月5日(第1土曜日)の夕方「ツバメのねぐら観察会」

日中は厳しい暑さの8月定例会は夏休みとし、前日夕方、淀川対岸・鶴殿のヨシ原にねぐら入りするツバメを観察します。また、探鳥コースにあるカラスウリが、ねぐら入り前はつぼみだったのに、ねぐら入り観察(1時間)後にはレース状の白い花を咲かせているのを観察します。 **カラスウリ1時間の変化(160806)**→



つぼみ 18:34

カラスウリ開花 19:42

牧野(淀川上流)探鳥会 2017年7月度

2017.7.2(第1日曜日) 9:00~12:00 日本野鳥の会大阪支部

担当 平 軍二(☎090-6901-1425) (Eメール g-hira@nifty.com)

南 茂夫、前田 初雄、甲田 照二、斎藤 健、西脇 淳浩

1. 今日(7月2日)は清掃探鳥会 (ゴミ拾いながら、探鳥コースを歩きます)

7月、牧野周辺で生まれた鳥の幼鳥が独り立ちする頃、親たちは一年間使って傷んだ羽を脱ぎかえる換羽に入っています。換羽中は外敵に襲われたとき、とっさに逃げることができないので、外敵に見つからないよう静かにしていることが多く、鳥の観察がしにくい季節です。

日本野鳥の会大阪支部では鳥が観察しにくい7月定例会を、探鳥地のゴミ拾い=清掃探鳥会として開催しています。ご協力いただきたく、よろしくお祈りします。(清掃探鳥会は会員・非会員とも無料)

2. 先月(17年6月)の探鳥会から

この時期としてはさわやかな風が吹き、絶好の探鳥日和でした。コースではシジュウカラ・ウグイス・オオヨシキリ・ホオジロなど、さえずりが切れ目なしに続き、少数ながら、キジ・セッカ・ヒバリも出てくれた。そして今日のメインゲストはホトギス、「特許許可局」の歌声を堪能した。



スズメ幼鳥(牧野駅西側広場)170604

3. 牧野探鳥会の野鳥(スズメ)

今月は牧野探鳥会で毎回観察している鳥、スズメにしました。スズメは人の顔色が見ながら、付かず離れずの距離を保って生活しているが、写真は牧野探鳥会集合時に近づいてきたスズメの幼鳥である。おそらく椅子に座って休んでいる方が、スズメの餌になるパンなどを与えているため、人は怖いということを知らず、人が来ると餌を貰えると近寄ってくるものと思われる。日本全国で減っているといわれているスズメ、このように身近に観察できるので、減ったことを意識することなく過ごしているが、実際はどうなのだろうか。

3. 牧野探鳥会二重苦(自転車対策+トイレ問題)

牧野探鳥会で最も気をつけていただきたいのは「**自転車と衝突しない**」、交通事故に対する自己防衛です。自転車のスピードが早いので、万一衝突事故があると怪我をするのはバードウォッチャーと思います。鳥を見るために道路を横切るときは、**小学1年生の気持ちになり「前後左右」**の安全を確かめてから横断してください。探鳥会開催時間内であれば、傷害保険に入っていますが、痛みまでは補償しません。

また、コース内のグラウンドに**簡易トイレが2ヶ所ある**ものの、正式なトイレは、終了時の鳥合わせ場所にあるのみです。この点もご留意ください。

←**猛スピードの自転車部隊が今日も次々通過** 170604



06/04/2017 10:45

4. 日本野鳥の会会員になって鳥類目録をゲットしませんか

日本野鳥の会大阪支部では「大阪府鳥類目録 2016」A4版 280Pの労作(定価 3000円)を発行しました、大阪の野鳥の生息状況が良くわかる資料で、**おおぞら会員・赤い鳥会員**には無償で配布しています。また**未入会の方は、赤い鳥会員として日本野鳥の会に入会して下さるようお待ちしております。**

5. 次回8月度の定例探鳥会 8/6はお休み、前日8月5日(第1土曜日)の夕方「ツバメのねぐら観察会」

日中は厳しい暑さの8月定例会は夏休みとし、前日夕方、淀川対岸・鶴殿のヨシ原にねぐら入りするツバメを観察します。また、探鳥コースにあるカラスウリが、ねぐら入り前はつぼみだったのに、ねぐら入り観察(1時間)後にはレース状の白い花を咲かせているのを観察します。 **カラスウリ1時間の変化(160806)→**



つぼみ 18:34

カラスウリ開花 19:42

牧野(淀川上流)探鳥会 2017年7月度

2017.7.2(第1日曜日) 9:00~12:00 日本野鳥の会大阪支部

担当 平 軍二(☎090-6901-1425) (Eメール g-hira@nifty.com)

南 茂夫、前田 初雄、甲田 照二、斎藤 健、西脇 淳浩

1. 今日は清掃探鳥会 (ゴミ拾いながら、探鳥コースを歩きます)

7月、牧野周辺で生まれた鳥の幼鳥が独り立ちする頃、親たちは一年間使って傷んだ羽を脱ぎかえる換羽に入っています。換羽中は外敵に襲われたとき、とっさに逃げることができないので、外敵に見つからないよう静かにしていることが多く、鳥の観察がしにくい季節です。

日本野鳥の会大阪支部では鳥が観察しにくい7月定例会を、探鳥地のゴミ拾い=清掃探鳥会として開催しています。ご協力いただきたく、よろしくお祈いします。(清掃探鳥会は会員・非会員とも無料)

2. 先月(17年6月)の探鳥会から

この時期としてはさわやかな風が吹き、絶好の探鳥日和でした。コースではシジュウカラ・ウグイス・オオヨシキリ・ホオジロなど、さえずりが切れ目なしに続き、少数ながら、キジ・セッカ・ヒバリも出てくれた。そして今日のメインゲストはホトギス、「特許許可局」の歌声を堪能した。



スズメ幼鳥(牧野駅西側広場)170604

3. 牧野探鳥会の野鳥(スズメ)

今月は牧野探鳥会で毎回観察している鳥、スズメにしました。スズメは人の顔色がを見ながら、付かず離れずの距離を保って生活しているが、写真は牧野探鳥会集合時に近づいてきたスズメの幼鳥である。おそらく椅子に座って休んでいる方が、スズメの餌になるパンなどを与えているため、人は怖いということを知らず、人が来ると餌を貰えると近寄ってくるものと思われる。日本全国で減っているといわれているスズメ、このように身近に観察できるので、減ったことを意識することなく過ごしているが、実際はどうなのだろうか。



3. 牧野探鳥会二重苦(自転車対策+トイレ問題)

牧野探鳥会で最も気をつけていただきたいのは「**自転車と衝突しない**」、交通事故に対する自己防衛です。自転車のスピードが早いので、万一衝突事故があると怪我をするのはバードウォッチャーと思います。鳥を見るために道路を横切るときは、**小学1年生の気持ちになり「前後左右」**の安全を確かめてから横断してください。探鳥会開催時間内であれば、傷害保険に入っていますが、痛みまでは補償しません。

また、コース内のグラウンドに**簡易トイレが2ヶ所ある**ものの、正式なトイレは、終了時の鳥合わせ場所にあるのみです。この点もご留意ください。

←**猛スピードの自転車部隊が今日も次々通過** 170604

4. 日本野鳥の会会員になって鳥類目録をゲットしませんか

日本野鳥の会大阪支部では「大阪府鳥類目録2016」A4版280Pの労作(定価3000円)を発行しました、大阪の野鳥の生息状況が良くわかる資料で、**おおぞら会員・赤い鳥会員**には無償で配布しています。また**未入会の方は、赤い鳥会員として日本野鳥の会に入会して下さるようお待ちしております。**

5. 次回8月度の定例探鳥会8/6はお休み、前日8月5日(第1土曜日)の夕方「ツバメのねぐら観察会」

日中は厳しい暑さの8月定例会は夏休みとし、前日夕方、淀川対岸・鶴殿のヨシ原にねぐら入りするツバメを観察します。また、探鳥コースにあるカラスウリが、ねぐら入り前はつぼみだったのに、ねぐら入り観察(1時間)後にはレース状の白い花を咲かせているのを観察します。 **カラスウリ1時間の変化(160806)→**



牧野(淀川上流)探鳥会 2017年7月度

2017.7.2(第1日曜日) 9:00~12:00 日本野鳥の会大阪支部

担当 平 軍二(☎090-6901-1425) (Eメール g-hira@nifty.com)

南 茂夫、前田 初雄、甲田 照二、斎藤 健、西脇 淳浩

1. 今日(17日)は清掃探鳥会 (ゴミ拾いながら、探鳥コースを歩きます)

7月、牧野周辺で生まれた鳥の幼鳥が独り立ちする頃、親たちは一年間使って傷んだ羽を脱ぎかえる換羽に入っています。換羽中は外敵に襲われたとき、とっさに逃げることができないので、外敵に見つからないよう静かにしていることが多く、鳥の観察がしにくい季節です。

日本野鳥の会大阪支部では鳥が観察しにくい7月定例会を、探鳥地のゴミ拾い=清掃探鳥会として開催しています。ご協力いただきたく、よろしくお願いいたします。(清掃探鳥会は会員・非会員とも無料)

2. 先月(17年6月)の探鳥会から

この時期としてはさわやかな風が吹き、絶好の探鳥日和でした。コースではシジュウカラ・ウグイス・オオヨシキリ・ホオジロなど、さえずりが切れ目なしに続き、少数ながら、キジ・セッカ・ヒバリも出てくれた。そして今日のメインゲストはホトギス、「特許許可局」の歌声を堪能した。



スズメ幼鳥(牧野駅西側広場)170604

3. 牧野探鳥会の野鳥(スズメ)

今月は牧野探鳥会で毎回観察している鳥、スズメにしました。スズメは人の顔色がを見ながら、付かず離れずの距離を保って生活しているが、写真は牧野探鳥会集合時に近づいてきたスズメの幼鳥である。おそらく椅子に座って休んでいる方が、スズメの餌になるパンなどを与えているため、人は怖いということを知らず、人が来ると餌を貰えると近寄ってくるものと思われる。日本全国で減っているといわれているスズメ、このように身近に観察できるので、減ったことを意識することなく過ごしているが、実際はどうなのだろうか。



3. 牧野探鳥会二重苦(自転車対策+トイレ問題)

牧野探鳥会で最も気をつけていただきたいのは「**自転車と衝突しない**」、交通事故に対する自己防衛です。自転車のスピードが早いので、万一衝突事故があると怪我をするのはバードウォッチャーと思います。鳥を見るために道路を横切るときは、**小学1年生の気持ちになり「前後左右」**の安全を確かめてから横断してください。探鳥会開催時間内であれば、傷害保険に入っていますが、痛みまでは補償しません。

また、コース内のグラウンドに**簡易トイレが2ヶ所ある**ものの、正式なトイレは、終了時の鳥合わせ場所にあるのみです。この点もご注意ください。

←**猛スピードの自転車部隊が今日も次々通過** 170604

4. 日本野鳥の会会員になって鳥類目録をゲットしませんか

日本野鳥の会大阪支部では「大阪府鳥類目録2016」A4版280Pの労作(定価3000円)を発行しました、大阪の野鳥の生息状況が良くわかる資料で、**おおぞら会員・赤い鳥会員**には無償で配布しています。また**未入会の方は、赤い鳥会員として日本野鳥の会に入会して下さるようお待ちしております。**

5. 次回8月度の定例探鳥会8/6はお休み、前日8月5日(第1土曜日)の夕方「ツバメのねぐら観察会」

日中は厳しい暑さの8月定例会は夏休みとし、前日夕方、淀川対岸・鶴殿のヨシ原にねぐら入りするツバメを観察します。また、探鳥コースにあるカラスウリが、ねぐら入り前はつぼみだったのに、ねぐら入り観察(1時間)後にはレース状の白い花を咲かせているのを観察します。 **カラスウリ1時間の変化(160806)→**



牧野(淀川上流)探鳥会 2017年7月度

2017.7.2(第1日曜日) 9:00~12:00 日本野鳥の会大阪支部

担当 平 軍二(☎090-6901-1425) (Eメール g-hira@nifty.com)

南 茂夫、前田 初雄、甲田 照二、斎藤 健、西脇 淳浩

1. 今日(17日)は清掃探鳥会 (ゴミ拾いながら、探鳥コースを歩きます)

7月、牧野周辺で生まれた鳥の幼鳥が独り立ちする頃、親たちは一年間使って傷んだ羽を脱ぎかえる換羽に入っています。換羽中は外敵に襲われたとき、とっさに逃げることができないので、外敵に見つからないよう静かにしていることが多く、鳥の観察がしにくい季節です。

日本野鳥の会大阪支部では鳥が観察しにくい7月定例会を、探鳥地のゴミ拾い=清掃探鳥会として開催しています。ご協力いただきたく、よろしくお祈りします。(清掃探鳥会は会員・非会員とも無料)

2. 先月(17年6月)の探鳥会から

この時期としてはさわやかな風が吹き、絶好の探鳥日和でした。コースではシジュウカラ・ウグイス・オオヨシキリ・ホオジロなど、さえずりが切れ目なしに続き、少数ながら、キジ・セッカ・ヒバリも出てくれた。そして今日のメインゲストはホトギス、「特許許可局」の歌声を堪能した。



スズメ幼鳥(牧野駅西側広場)170604

3. 牧野探鳥会の野鳥(スズメ)

今月は牧野探鳥会で毎回観察している鳥、スズメにしました。スズメは人の顔色がを見ながら、付かず離れずの距離を保って生活しているが、写真は牧野探鳥会集合時に近づいてきたスズメの幼鳥である。おそらく椅子に座って休んでいる方が、スズメの餌になるパンなどを与えているため、人は怖いということを知らず、人が来ると餌を貰えると近寄ってくるものと思われる。日本全国で減っているといわれているスズメ、このように身近に観察できるので、減ったことを意識することなく過ごしているが、実際はどうなのだろうか。



06/04/2017 10:45

3. 牧野探鳥会二重苦(自転車対策+トイレ問題)

牧野探鳥会で最も気をつけていただきたいのは「**自転車と衝突しない**」、交通事故に対する自己防衛です。自転車のスピードが早いので、万一衝突事故があると怪我をするのはバードウォッチャーと思います。鳥を見るために道路を横切るときは、**小学1年生の気持ちになり「前後左右」**の安全を確かめてから横断してください。探鳥会開催時間内であれば、傷害保険に入っていますが、痛みまでは補償しません。

また、コース内のグラウンドに**簡易トイレが2ヶ所ある**ものの、正式なトイレは、終了時の鳥合わせ場所にあるのみです。この点もご留意ください。

←**猛スピードの自転車部隊が今日も次々通過** 170604

4. 日本野鳥の会会員になって鳥類目録をゲットしませんか

日本野鳥の会大阪支部では「大阪府鳥類目録2016」A4版280Pの労作(定価3000円)を発行しました、大阪の野鳥の生息状況が良くわかる資料で、**おおぞら会員・赤い鳥会員**には無償で配布しています。また**未入会の方は、赤い鳥会員として日本野鳥の会に入会して下さるようお待ちしております。**

5. 次回8月度の定例探鳥会8/6はお休み、前日8月5日(第1土曜日)の夕方「ツバメのねぐら観察会」

日中は厳しい暑さの8月定例会は夏休みとし、前日夕方、淀川対岸・鶴殿のヨシ原にねぐら入りするツバメを観察します。また、探鳥コースにあるカラスウリが、ねぐら入り前はつぼみだったのに、ねぐら入り観察(1時間)後にはレース状の白い花を咲かせているのを観察します。 **カラスウリ1時間の変化(160806)→**



つぼみ 18:34

カラスウリ開花 19:42

牧野(淀川上流)探鳥会 2017年7月度

2017.7.2(第1日曜日) 9:00~12:00 日本野鳥の会大阪支部

担当 平 軍二(☎090-6901-1425) (Eメール g-hira@nifty.com)

南 茂夫、前田 初雄、甲田 照二、斎藤 健、西脇 淳浩

1. 今日(17日)は清掃探鳥会 (ゴミ拾いながら、探鳥コースを歩きます)

7月、牧野周辺で生まれた鳥の幼鳥が独り立ちする頃、親たちは一年間使って傷んだ羽を脱ぎかえる換羽に入っています。換羽中は外敵に襲われたとき、とっさに逃げることができないので、外敵に見つからないよう静かにしていることが多く、鳥の観察がしにくい季節です。

日本野鳥の会大阪支部では鳥が観察しにくい7月定例会を、探鳥地のゴミ拾い=清掃探鳥会として開催しています。ご協力いただきたく、よろしくお祈りします。(清掃探鳥会は会員・非会員とも無料)

2. 先月(17年6月)の探鳥会から

この時期としてはさわやかな風が吹き、絶好の探鳥日和でした。コースではシジュウカラ・ウグイス・オオヨシキリ・ホオジロなど、さえずりが切れ目なしに続き、少数ながら、キジ・セッカ・ヒバリも出てくれた。そして今日のメインゲストはホトギス、「特許許可局」の歌声を堪能した。



スズメ幼鳥(牧野駅西側広場)170604

3. 牧野探鳥会の野鳥(スズメ)

今月は牧野探鳥会で毎回観察している鳥、スズメにしました。スズメは人の顔色が見ながら、付かず離れずの距離を保って生活しているが、写真は牧野探鳥会集合時に近づいてきたスズメの幼鳥である。おそらく椅子に座って休んでいる方が、スズメの餌になるパンなどを与えているため、人は怖いということを知らず、人が来ると餌を貰えると近寄ってくるものと思われる。日本全国で減っているといわれているスズメ、このように身近に観察できるので、減ったことを意識することなく過ごしているが、実際はどうなのだろうか。



3. 牧野探鳥会二重苦(自転車対策+トイレ問題)

牧野探鳥会で最も気をつけていただきたいのは「**自転車と衝突しない**」、交通事故に対する自己防衛です。自転車のスピードが早いので、万一衝突事故があると怪我をするのはバードウォッチャーと思います。鳥を見るために道路を横切るときは、**小学1年生の気持ちになり「前後左右」**の安全を確かめてから横断してください。探鳥会開催時間内であれば、傷害保険に入っていますが、痛みまでは補償しません。

また、コース内のグラウンドに**簡易トイレが2ヶ所ある**ものの、正式なトイレは、終了時の鳥合わせ場所にあるのみです。この点もご留意ください。

←**猛スピードの自転車部隊が今日も次々通過** 170604

4. 日本野鳥の会会員になって鳥類目録をゲットしませんか

日本野鳥の会大阪支部では「大阪府鳥類目録2016」A4版280Pの労作(定価3000円)を発行しました、大阪の野鳥の生息状況が良くわかる資料で、**おおぞら会員・赤い鳥会員**には無償で配布しています。また**未入会の方は、赤い鳥会員として日本野鳥の会に入会して下さるようお待ちしております。**

5. 次回8月度の定例探鳥会8/6はお休み、前日8月5日(第1土曜日)の夕方「ツバメのねぐら観察会」

日中は厳しい暑さの8月定例会は夏休みとし、前日夕方、淀川対岸・鶴殿のヨシ原にねぐら入りするツバメを観察します。また、探鳥コースにあるカラスウリが、ねぐら入り前はつぼみだったのに、ねぐら入り観察(1時間)後にはレース状の白い花を咲かせているのを観察します。 **カラスウリ1時間の変化(160806)→**



牧野(淀川上流)探鳥会 2017年7月度

2017.7.2(第1日曜日) 9:00~12:00 日本野鳥の会大阪支部

担当 平 軍二(☎090-6901-1425) (Eメール g-hira@nifty.com)

南 茂夫、前田 初雄、甲田 照二、斎藤 健、西脇 淳浩

1. 今日は清掃探鳥会 (ゴミ拾いながら、探鳥コースを歩きます)

7月、牧野周辺で生まれた鳥の幼鳥が独り立ちする頃、親たちは一年間使って傷んだ羽を脱ぎかえる換羽に入っています。換羽中は外敵に襲われたとき、とっさに逃げることができないので、外敵に見つからないよう静かにしていることが多く、鳥の観察がしにくい季節です。

日本野鳥の会大阪支部では鳥が観察しにくい7月定例会を、探鳥地のゴミ拾い=清掃探鳥会として開催しています。ご協力いただきたく、よろしくお祈いします。(清掃探鳥会は会員・非会員とも無料)

2. 先月(17年6月)の探鳥会から

この時期としてはさわやかな風が吹き、絶好の探鳥日和でした。コースではシジュウカラ・ウグイス・オオヨシキリ・ホオジロなど、さえずりが切れ目なしに続き、少数ながら、キジ・セッカ・ヒバリも出てくれた。そして今日のメインゲストはホトギス、「特許許可局」の歌声を堪能した。



スズメ幼鳥(牧野駅西側広場)170604

3. 牧野探鳥会の野鳥(スズメ)

今月は牧野探鳥会で毎回観察している鳥、スズメにしました。スズメは人の顔色がを見ながら、付かず離れずの距離を保って生活しているが、写真は牧野探鳥会集合時に近づいてきたスズメの幼鳥である。おそらく椅子に座って休んでいる方が、スズメの餌になるパンなどを与えているため、人は怖いということを知らず、人が来ると餌を貰えると近寄ってくるものと思われる。日本全国で減っているといわれているスズメ、このように身近に観察できるので、減ったことを意識することなく過ごしているが、実際はどうなのだろうか。

3. 牧野探鳥会二重苦(自転車対策+トイレ問題)

牧野探鳥会で最も気をつけていただきたいのは「**自転車と衝突しない**」、交通事故に対する自己防衛です。自転車のスピードが早いので、万一衝突事故があると怪我をするのはバードウォッチャーと思います。鳥を見るために道路を横切るときは、**小学1年生の気持ちになり「前後左右」**の安全を確かめてから横断してください。探鳥会開催時間内であれば、傷害保険に入っていますが、痛みまでは補償しません。

また、コース内のグラウンドに**簡易トイレが2ヶ所ある**ものの、正式なトイレは、終了時の鳥合わせ場所にあるのみです。この点もご留意ください。

←**猛スピードの自転車部隊が今日も次々通過** 170604



06/04/2017 10:45

4. 日本野鳥の会会員になって鳥類目録をゲットしませんか

日本野鳥の会大阪支部では「大阪府鳥類目録 2016」A4版 280Pの労作(定価 3000円)を発行しました、大阪の野鳥の生息状況が良くわかる資料で、**おおぞら会員・赤い鳥会員**には無償で配布しています。また**未入会の方は、赤い鳥会員として日本野鳥の会に入会して下さるようお待ちしております。**

5. 次回8月度の定例探鳥会 8/6はお休み、前日8月5日(第1土曜日)の夕方「ツバメのねぐら観察会」

日中は厳しい暑さの8月定例会は夏休みとし、前日夕方、淀川対岸・鶴殿のヨシ原にねぐら入りするツバメを観察します。また、探鳥コースにあるカラスウリが、ねぐら入り前はつぼみだったのに、ねぐら入り観察(1時間)後にはレース状の白い花を咲かせているのを観察します。 **カラスウリ1時間の変化(160806)** →



つぼみ 18:34

カラスウリ開花 19:42

